

## 第44回日本臨床心理学会大会速報その3

第44回日本臨床心理学会大会委員長

櫻田 美雄（徳島大学）

大会プログラムが決まりましたので、以下にお知らせいたします。

日時：2008年9月18日（木）～20日（土）

場所：徳島大学（徳島県徳島市南常三島町2丁目1番地

徳島大学工学部キャンパス内 新・共通講義棟5階）

	午 前	午 後	夜
9 / 18 (木)		2:00～3:30 事務総会 3:30～5:30 総会討議	
9 / 19 (金)	10:00～12:30 個別発表：A・B・C	1:30～4:30 分科会：早期発達療育と児童デイ サービス事業のあり方 学習会：医療観察法の現状と問題	懇親会 工業 会館
9 / 20 (土)	9:30～12:30 分科会：地域支援と臨床心理Part ワークショップ：ヒアリングヴォイシズ	1:30～4:30 地域貢献特別公開シンポジウム 特別支援教育と軽度発達障害 —その構造と論理の批判的検討—	

### 【地域貢献特別公開シンポジウム】

日本臨床心理学会 文科省科研「特別支援教育のビデオエスノグラフィー」合同開催

【大会参加費】 会員：3500円 非会員：4000円 学生・ユーザー：2000円  
地域貢献特別公開シンポジウムのみ参加の非会員：500円（資料代）

### 【問い合わせ先】日本臨床心理学会

住 所：〒110-0003 東京都台東区根岸1-1-24 鶯谷日伸ハイツ201

Tel & Fax：03-3847-9164（電話は月曜日のみ）

学会HP：<http://www.geocities.jp/nichirinshin/> e-mail:nichirinshin@yahoo.co.jp

### 【宿泊・フライト予約について】

徳島市内では本大会と同じ会期で、他の学会の開催が予定されています。そのため大会間近での宿泊や交通機関等の混雑が予想されます。本大会に参加予定の方は、早めの宿泊予約・フライト予約をお勧めします。宿泊先は同封の「徳島コンベンションビューロー」(Tel:088-652-8814)の宿泊案内などをご利用下さい。会場付近の宿泊施設は、プラザイン徳島、徳島グリーンホテルなどです。なお、学会事務局での宿泊先斡旋はしておりませんのでご了承下さい。

## 第8回関東委員会のお知らせ

テーマ：不登校研究を検討する

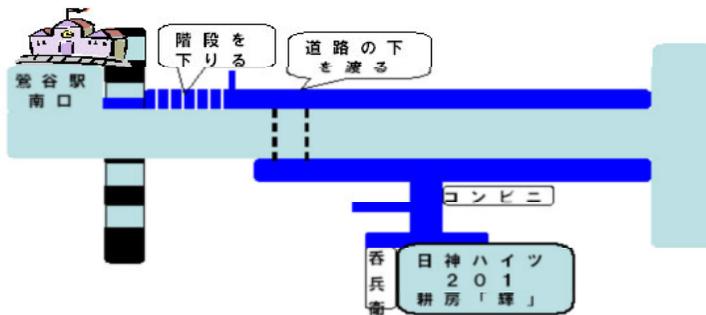
日本臨床心理学会関東委員会

日時：2008年6月15日（日） 2:45pm . 受付3:00～5:00pm .  
場所：精神障害者共同作業所 耕房「輝」（日本臨床心理学会事務局）  
Tel & fax 03-3847-9164 IP-TEL 050-1092-1615  
企画：日本臨床心理学会関東委員会  
話題提供：山岸 竜治（日本大学文理学部、通信教育部・非常勤）  
参加費：500円（どなたでもご参加下さい）

過日、在学していた日本大学大学院に「不登校研究」をテーマにした博士学位請求論文（「わが国における不登校研究の生成とその後の問題点に関する研究 - 本人・家庭原因説の批判的検討を中心に - 」以下、博論）を提出、受理された。今回の関東委員会では、この博論にもとづいた報告を行いたい。すなわち、3つの切り口（不登校は戦後の問題なのか、従来「不登校は本人の性格や親の育て方で起こる」とされてきた原因論が、1990年前後に「そうとはいえない」と変説されたのは何故か、わが国の不登校研究にはどのような問題点があったのか）からわが国の不登校研究を検討した、批判的な色彩を持つ考察を報告したい。ちなみに、この博論は『臨床心理学研究』に掲載された幾つかの論文、とくに渡部淳、横田正雄による論文がなければありえないものであった、と考えているものである。

ところで、私は博論を書きながら「専門家＝臨床家（以下、専門家）」の中には少々いい加減な人が居るのではないかという感想を持った。例えば、「鷲見たえ子」という精神科医の名前は、正しくは「すみ・たえこ」と読むのであるが「わしみ・たえこ」と読み間違っている専門家が少なくなかった。だが言葉の操作に関する脆弱性は、精神科臨床や心理臨床において専門家とクライアントとのすれ違いを引き起こさないのだろうか、と思った。また例えば、孫引きをやっていると思われる専門家も見かけられたが、孫引きとはいいいかえれば手抜きであり、もし私が臨床行為を受けるとすれば、そういった専門家の臨床は遠慮したいように感じたりもした。そういった長い間博論を書けずにいた私の金縛りを解いてくれたのは、或る「スチューデント・アパシー」を論じた博論の中に、事実を逸脱した記述（不登校に関するものであったが）を発見した瞬間であった。こういった博論作成の周辺にあった事柄についても、あわせて報告してみたいと考えている。（話題提供者）

<会場地図>



## 会費納入のお願い

日本臨床心理学会 事務局

過日、臨床心理学研究第45巻3号に振込用紙を同封させていただきましたが、早速会費を振り込んで下さった方々には心より御礼申し上げます。会費納入がまだお済みでない方は、会費納入のほどをよろしくお願い申し上げます。なお、過日お知らせいたしましたように事務局の移転に伴って、これまで行ってまいりました「郵便貯金からの自動引き落とし」を中止いたしました。つきましては、本年度会費の納入は全て「振り込み」にてお願いいたします。振り込み先は以下になります。

郵便局：00190-8-59797

みずほ銀行：稲荷町支店 普通 1784345

会費納入状況は、タックシールや封筒の下側に最終納入年度の下2桁の数字が印字されておりますので（「07」の方は2007年度まで納入されているということです。）それを参考に2008年度分会費と未納分を合わせてお振り込み下さい。

また、2005年度までしか会費を納めていらっしゃらない方は、2年間の滞納になりますので、2007年度末（2008年3月末）で自然退会扱いとさせていただきます。未納がある方は、未納分をお支払いいただいた上、継続されるのか退会されるのかのご意志を、事務局までご連絡下さいますようお願い申し上げます。

以上、よろしくお願い申し上げます。

## （独）科学技術振興機構（JST）からのご案内

（独）科学技術振興機構（JST）より「JREC-IN（研究者人材データベース：ジェイレックイン）」に関するご案内がありました。JREC-INは、主に研究人材を対象とした求人公募情報と求職者情報をインターネットで無料提供しており、ポスドク等若手研究者の方を中心に広く利用されているとのことです。

【JREC-IN <http://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekTop>】

アクセスは約1,600万ページビュー/年、掲載公募情報は約10,000件/年

採用側>簡単な会員登録により、いつでもWebから公募情報を登録可能（無料）

応募側>どなたでも公募情報を閲覧可能。マッチングメールや求職者照会メールも無料で利用可能

独立行政法人科学技術振興機構

JREC-IN事務局

mail : [jrecin@tokyo.jst.go.jp](mailto:jrecin@tokyo.jst.go.jp)

URL : <http://jrecin.jst.go.jp>

## 第13回環太平洋精神科医会議のお知らせ

「変貌する環太平洋精神医学：多文化・多職種協働の精神医学」をテーマに、第13回環太平洋精神科医会議が開かれます。国際的に最先端の知見に関する講演、シンポジウムが多数予定されています。

期 間	平成20年10月30日(木)～11月2日(日)
会 場	都市センターホテル (東京 赤坂)
参加費	医 師 45,000円(平成20年8月31日まで) 50,000円(それ以降)
	コメディカル 20,000円(平成20年8月31日まで) 30,000円(それ以降)
	学生(大学院生を含む) 10,000円

第13回環太平洋精神科医会議事務局 (PRCP2008)  
〒102-8481 東京都千代田区麹町5-1  
弘済会館ビル6階株式会社コングレ  
Tel: 03-5216-5318 Fax: 03-5216-5552  
学会ホームページ <http://prcp2008.org/>

## INTERVOICE (ヒアリング・ヴォイシズ・国際ネットワーク) の 国際会議 11月オーストラリアで開催

今年のINTERVOICE国際会議は、11月にオーストラリアのパースで開催されます。ヨーロッパ以外での開催は初めてです。詳細情報ご希望の方は学会事務局へ、できればe-mailでお尋ね下さい。

日時：2008年11月6日(木)～8日(土)

場所：オーストラリアのパース Perth, Australia

主催：オーストラリア・ヒアリング・ヴォイシズ・ネットワーク及びリッチモンド・フェローシップ・

ウェスト・オーストラリア

議題概要：主に以下のことに焦点化される見込み

1. INTERVOICEの運営課題と各国での展開状況について。ウェブやメディアによる報道、その他。
2. スピリチュアリティやポジティブな聴声に関する新しい研究や実践に関する発表と討論。

参加費：Australian \$100 会場と宿舎：Bel Eyre Comfort Inn (Guilford), 1泊Australian \$90

招待：各国のHVネットワークの代表2名(関係ワーカーと聴声体験者)までが宿泊と参加費を含めて招待される。その他のメンバーや支援者も参加歓迎されるが、費用は自前となる。

前段にオーストラリア全国集会“回復と精神病Recovery in Psychosis Conference”：同月4・5日に同場所で、リッチモンド・フェローシップ・ウェスト・オーストラリアの主催で行われる。